

製品名: GDF-7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11387**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	GDF7
別名	GDF7; Growth/differentiation factor 7; GDF-7
遺伝子 ID	151449.0
SwissProt ID	Q7Z4P5
免疫原	抗血清はヒト GDF7 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

背景

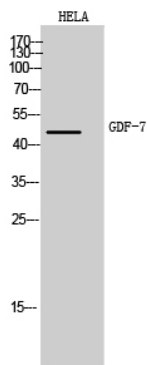
この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーの

リガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化につながります。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によってジスルフィド結合したホモ二量体の各サブユニットを生成します。このタンパク質は、腱細胞と脊髄介在ニューロンの分化に関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、バレット食道および食道腺癌のリスク増加と関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2016 年 9 月],機能: 霊長類大脳新皮質の運動野で積極的な役割を果たす可能性があります。、類似性: TGF- β ファミリーに属します。、サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。、

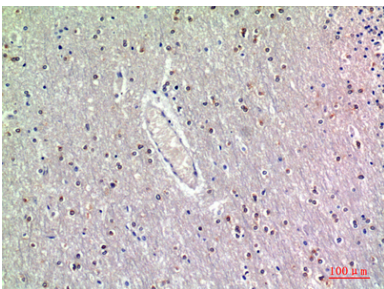
研究分野

TGF-ベータ;

画像データ



GDF-7 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された